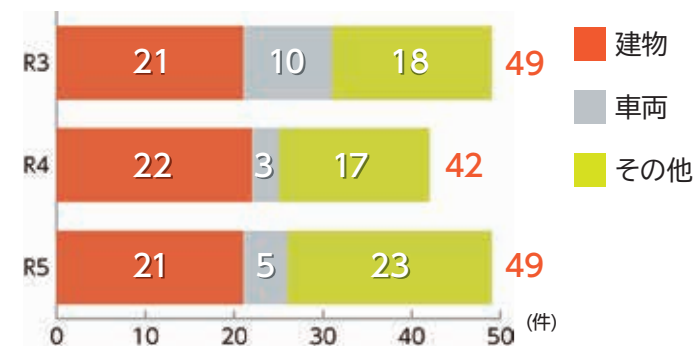


市内の火災・救急状況

火災

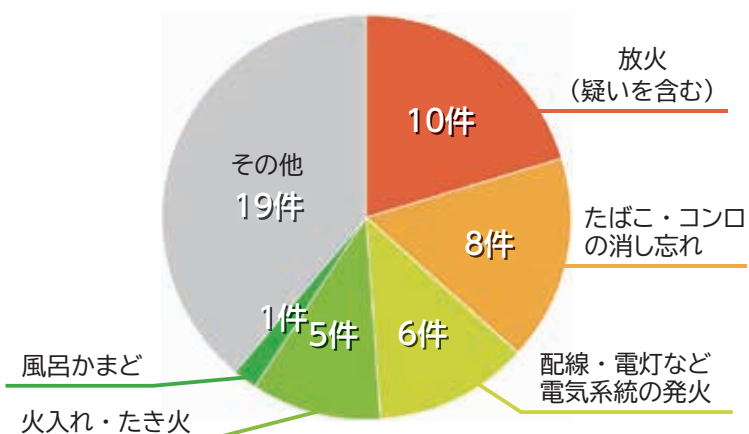
過去3年間の火災件数

昨年、市内で発生した火災は49件。今年は9月末時点で既に46件発生しており、死者も出ています



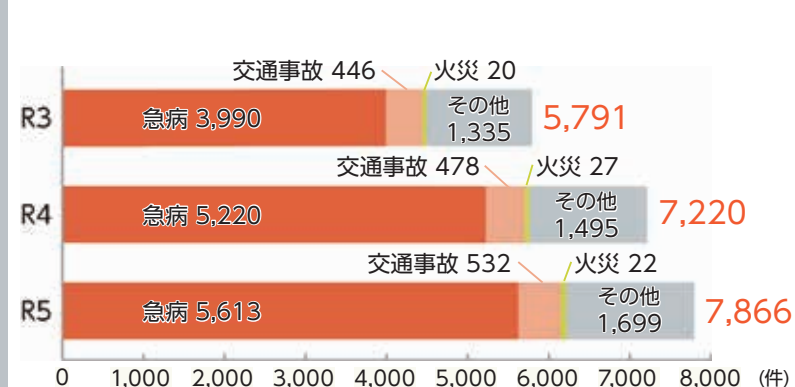
令和5年火災原因

主な出火原因は、放火(疑いを含む)・たばこ等の消し忘れ・電気機器関係で、約半数を占めています



救急

出場件数



救急車の出場件数は年々増加し、今後も救急要請が増加し続けることが予想されます。救急車の数には限りがあるため、緊急搬送が必要な人の元へ救急車の到着が遅れる懸念があります。



本格的な冬の到来を迎え、火災が発生しやすい時期になりました。火災から生命や財産を守るためには、日頃からその危険性を認識し、対策を行うことが大切です。さらに、近年は自然災害も多発しており、常に不測の事態を想定しておく必要があります。

そんな有事の際に、現場の最前線で活動に当たるのが消防士です。消防士は火災現場で消火活動をするイメージが強いかもしれませんが、救急車で出動し、傷病者の確認や救急救命処置・搬送を行うことも重要な仕事です。そのほか、水難事故などで要救助者を助け出す救助活動や、店舗などの消防用設備の検査業務、火災予防広報など、幅広い活動を行っています。

また、火災や大規模災害の際にいち早く現場に駆け付け、消防士と連携を取りながら消火・救助活動を行う353人の消防団員がいます。24時間消防業務に専念している消防士と異なり、普段は会社員や自営業などの本業を持ちながら「自分たちのまち自分たちで守る」という精神で活動している人々です。

今回の特集では、私たちの「もしも」のときに備えて日夜奮闘する消防士と、地域防災の要である消防団員を紹介します。

市民の「もしも」のときに備えて

このまちの
安心・安全のために

